

令和6年度 軽井沢東部小学校 グランドデザイン

軽井沢町「こぶし教育」

心豊かでたくましい
軽井沢の子どもの育成
こころ豊かに
ぶふんかを育て
ししぜんを愛する

保護者・地域の願い

- ・小規模校の特性を生かしたアットホームな学校
- ・きめ細やかな支援
- ・地域の財をいかした教育活動
- ・あいさつが響く学校
- ・意欲的に取り組む子
- ・粘り強く取り組む子

学校教育目標

風土に恥じない 爽やかな人になれ
やさしく かしく たくましく

目指す学校像

- 子どもを学びの中心においた学校
- 子どもが安心して、楽しく、みんな一緒に学べる学校
- 保護者・教職員・地域の人みんなで創る学校

重点目標

「自分でつくる・みんなでつくる」

【つきたい力】

- ① 自らをコントロールする力
- ② 他者とつながる力
- ③ 新しいものを創り出す力

大切にしたい取り組み 「つながる」「えらべる」「つくる」
「対話」「異年齢活動」「選択」「挑戦」「発信」

学校長の願い

～東部小の子に願う姿～

「自分の考えを持ち、自ら行動したり発信したりできる子」
「自分だけでなく仲間の良さ、苦手なことも認め、大事にしながら協働できる子」
「地域に誇りを持ち、地域の人と積極的に関わり学び、地域から大事にされる子」

子どもたちの合言葉

にこにこ

わくわく

こつこつ

みんなていっしょに

がんばる東部っこ

重点目標具現化の具体的な取り組み

～集団づくり～ 「笑顔いっぱい」

「自分だけでなく仲間の良さを認め、協働できる子」
「仲間のために自ら行動できる子」

重点活動

- 「対話」の充実
 - ・学級会、道徳、児童会で生まれる「対話」を大切に、「対話」を通してつきたい5つの力を高めていく。
 - ・子どもと子どもをつなげ、「対話は楽しい」と感じられるようにファシリテートする。
- 「わからない」「教えて」が安心して言える学級づくり
 - ・多様な子どもたちが安心して自分の考えを話せる場をつくり、自尊心を高める。
 - ・「わからない」とつぶやいた子どもに寄り添い、教師が価値づけをする。
- 異年齢交流活動の活性化
 - ・日常の授業だけでなく、児童会活動や縦割り清掃、読み聞かせ、全校対話を通して、自尊心や自己有用感、仲間と関わる喜びを高める。

～授業づくり～ 「わくわくしよう」

「自分の考えを持ち、自ら行動したり、発信したりできる子」
「仲間の考えを聴いて、自分の考えを広げ、新たな問いをたてられる子」

重点活動

- 「対話」を大切に授業づくり
 - ・子どもが「対話」をしなくなるような学習課題、「対話」を通して新たに問いを自ら立てられる場面の設定
 - ・友との協働的な学び「対話」を通して自分の考えを広げられる授業
- 「やってみよう」を大切に学習の充実
 - ・探究的な学習、体験学習等を通して、疑問をみんなで解決する学び
 - ・地域素材を活かした学び(軽井沢学)の学習単元を学級の中核活動に位置付け、総合的な学習や生活科で推進する。
- ひとりひとりの学びに寄り添った個別、協働的な授業づくり
 - ・学び合いを通して、自らの学びを深めている授業
 - ・子どもとの「対話」を通して、自分に合った学習の進め方で、課題に取り組むことのできる指導・支援

～身体づくり～ 「やってみよう」

「自分たちで決め、つくる喜びを味わえる子」
「あきらめずに最後まで、こつこつ取り組める子」

重点活動

- 自分の学びを自分でつくり出す
学習、児童会活動の推進
 - ・行事を学校のみならず一緒に創る。
 - ・子どもを信じ、任せる指導(運動会における連年種目や軽東祭の企画、運営)
 - ・学校生活の課題を自ら見だし、解決する力を高める活動をサポートしていく。
- 自分と向き合い取り組む活動
 - ・自分てめあてを立て、やり抜く喜びや達成感を味わう活動を支援する。(マラソン記録会)
 - ・働くよさを感じる清掃活動
- 自ら体を動かし鍛える場
 - ・軽井沢の特色を活かした活動の充実(スケート教室・カーリング教室)

大切にしたい教職員の姿勢

- 「対話」のねらい、形態の工夫といった研修を積み重ねていく。
- 「聴く」姿勢を基本とした子どもの支援を行う。
- 「指導」を「伴走・支援」へと転換する誰一人残すことなくすべての子どもの学びを保証する。
- 安全、安心な学校づくりを目指す。
 - ・体罰厳禁・いじめを許さない・生徒指導はスピードが誠意
- 全職員で、すべての子どもにかかわる。
 - ・子どもに寄り添い、見下さず、可能性を信じ、決めつけず、見捨てず、あきらめない(Children Firstの精神)
- 開かれた学校づくりに心がける。
 - (学校だより、学校 HP、授業公開)

児童に身につけさせたい基本的な姿勢

- 授業に向かう姿勢
 - ・聴く力の向上
 - ・自ら考え、行動、発信
 - ・自分の学びをつくる
- いじめをしない、許さない、許さない心
- 当たり前を大切に安全な生活
 - ・あいさつ・清掃・生活の約束を守る
 - ・場に応じた行動、言葉遣い、気遣い・交通安全

<取り組みに対する検証・評価>

学校アンケート「授業がよく分かる」「自分には良いところがある」の質問項目について「そう思う、だいたいそう思う」と答える児童が90%以上になるように取り組んでいく。



学校教育目標

やさしく・かしこく・たくましく

～豊かな心で、共に生きる力をもつ中部の子～



【学校長の願い 3つの柱】

- ・自分も周りの人のことも大切にできる子
- ・自ら学ぶ楽しさを味わい友と学びあう子
- ・心身共に健康に自ら生活を創っていく子

【軽井沢町の願い】

「心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成」

「こぶし教育」(心・文化・自然)

こころ: 軽井沢の心の育成(人・物・環境への思い)

ぶんか: 国際親善文化観光都市にふさわしい人材育成

しぜん: 自然を愛し自然環境を守り続ける人材育成

やさしく

自分も
周りの人のことも
大切にできる子

- 1 共に学び合う仲間づくり
○子どもと子ども 子どもと職員
のあたたかな関係づくり
○実際のできごとを通して
語り合い創っていく過程の重視
- 2 子どもへのあたたかな評価と
保護者との信頼づくり
○学習の過程、その子の成長を
認め、丁寧に振り返っていく
(道徳、全教科にわたって)
○地域・保護者と信頼関係を結び、
その子らしさを見つめ育む

かしこく

自ら学ぶ楽しさを
味わい
友と学びあう子

- 1 子どもに委ねる
○学習の主導権をもっと子どもに
○「好き」「楽しい」を探究する学習
- 2 授業改善
○個に応じた多様な学び方の研究
○探究的協働的な学習の実践
○町合同研修・連携をもとにした
授業改善の研修
○自ら取り組む「自学ノート」「寺子屋ブ
リント」「マスターノート」の実施
- 3 専門性を生かした授業実践
○「教科担任制」による専門的技量
を生かした授業実践・児童理解

たくましく

心身共に健康に
自ら生活を
創っていく子

- 1 自立心を育む活動
○清掃などの日常生活や、行事を
通しての子どもの成長を見つめ、
共に歩む
- 2 心身共に健康な子どもの育成
○遊び・体力作りを通して健康作り
○個性・命と健康を大切に教育
- 3 学校生活を自ら創る意識づくり
○児童主体の学校行事
○児童による生活の問題解決
○家庭との連携(食事、運動、メ
ディアコントロール)



研究テーマ 表現・発信を通じた 児童のウェルビーイングの実現

「ちょっとした学級の活動部会」

- ・やりたいことにチャレンジ
- ・係活動で表現・発信
- ・〇〇さんのウェルビーイングとは
- ・学級会で創っていくわたしの学級
など 児童が創る学級を支える

「ちょっとした学習の工夫部会」

- ・学び合い学習・誰もがミニ先生
- ・ICT活用と発信・共有
- ・作戦・考え・思いを大切に表現
- ・触れて感じる体験の重視 など
表現の多様性の尊重する

「環境アイテム部会」

- ・自由なアウトプットの場
- ・IU CHUBU HARU CHUBU
- ・KAKU CHUBU OTO CHUBU
- ・しゃべり場 など
環境づくりによる支援を探る

特色ある教育

☆ICT活用・情報モラル教育

- ・ICT活用の効果的授業展開
- ・教科等横断的なICT学習
- ・オンライン授業の発展的展開
- ・情報モラル教育の実践

☆地域とつながる支援(CS)

- ・熊講習
- ・読み聞かせ
- ・クラブ活動支援・カーリング
- ・軽井沢での野菜収穫 等
- ・軽井沢彫り
- ・スケート学習

☆軽井沢に学ぶ教育活動

- ・軽井沢の歴史・自然・文化のよ
さを再発見する軽井沢ゼミ
- ・地域の特性を生かしたイマー
ジョン教育、英語、国際理解教育

【軽井沢こぶし教育】

心豊かでたくましく軽井沢の子どもの育成
こころ豊かに ぶんかを育て しぜんを愛する

【地域の願い】

- ・自然・歴史を活かし、心身共にたくましくなっけてほしい。
- ・仲間と共に、見方・考え方も身につけてほしい。
- ・自分から表現する子どもになってほしい。



【学校教育目標】

じぶんでかंगाえ みんなでつくる

【校長の願い】

変化する時代を生きていく子どもたちには、既存の枠を超え、自ら人生や社会を切り拓く力を身に付けたい。また、様々な人とつながり、多様な価値観を受け入れ、共に生きる人間性も身につけてほしい。そのために、保護者・地域と連携し、教育課程の編成を推進します。

【ICT活用・プログラミング・情報モラル教育】 ～タブレットを活用した情報活用能力の育成～

- ・5ヵ年計画の最終年度
- ・6年間で見通した、ICT活用能力の育成
- ・6年間を見通した、プログラミング的思考の育成
- ・目的のあるプログラミング学習
- ・アンケートによる実態把握と、情報モラル研修

自律

～よさを求め、粘り強く取り組む子ども～

子どもたちに任せ、委ね、創る環境を設定し、主体的に取り組む力を育みます。

【今年度の重点】

探究

～自ら問いをもち、考え、行動する子ども～

- ①教科教育では、子どもたちの問いを大切にしながら、答えのない問題にも取り組むことで探究心を育てます。
- ②学級の宝の活動（中核活動）を充実させ、子どもと教師が共に地域に飛び出し、専心して取り組む「生活科・総合的な学習の時間」にします。
- ③軽井沢ゼミ・お仕事ゼミを通して、軽井沢の人や事を知り、もっと知りたいこと、やりたいことに出会い、将来の夢や憧れを膨らませます。（キャリア教育）
- ④自らの興味・関心にもとづいた学びをつくりまします。（個人探究）

【相談窓口】



◎意見箱の設置（昇降口）

*子どもも大人も自由に書き入れてください。

◎学校開放 *いつでも学校を見に来てください。

【今年度の重点】

共生

～お互いを尊重し、自分や他者を大切にできる子ども～

- ①教科の学びにおいて、個別最適・協働的な学びを通して、主体的・対話的に学ぶ力を育てます。
- ②対話的な活動を通して、異なる考え方を受け止め、よりよい学びを創り出す力を育みます。
- ③地域や保護者との横のつながりを通して、夢をもち、ふるさとや母校を愛する心を育みます。【コミュニティスクール、軽井沢で出会う人、外部講師による活動、地域の祭、ISAK・町内の公立私立異校種の学校との交流・連携】

軽井沢中学校グランドデザイン

軽井沢町教育目標 「こぶし教育」(こ): 心豊かで (ぶ): 文化を育て継承し (し): 自然を愛す

学校教育目標

「知力と体力にあふれ、心身ともたくましい、心豊かな生徒の育成」
～ すてきな軽井沢人になろう ～

生徒の実態

- 素直で明るく、発信力がある。
- プラスの言葉がけに意欲的に取り組む。
- 多様性を受け入れられる
- 積み重ねることがやや苦手。

願う生徒の姿

- 周りのひと・もの・ことに心を寄せられる。
- 困難に対して自ら考え解決しようとする。
- 互いの人格を尊重し、共に高め合う。

学校長の願い

- 安心して生活でき、所属感のある学校
- 自分の力を伸長できる魅力ある学校
- 生徒、地域、職員で創りあげる「軽井沢中」
- 軽井沢のよさを生かした教育の充実

保護者の願い

- 確かな学力と豊かな人間性
- 健康でたくましい心と体
- 安心・安全で信頼できる学校

学ぶ力を高める

「自ら学び、友と学び合える生徒」

- 1 意欲を引き出す授業づくり
探究を意識した授業構想・展開
学習問題・課題の吟味
- 2 友と共に学びを深める授業
- 3 振り返りを大事にした授業改善
- 4 アウトプットとインプットのバランスを考えた授業づくり
- 5 ICT機器の有効的な活用
- 6 職員相互に高め合う授業研修

軽井沢学

- ・疑問や課題に対して、自ら学びを紡いでいく学習
- ・ふるさと軽井沢を知り、触れて感じて考えて、誇りをもつ学び
- ・自分で探究し、発信していく学び

道徳教育・キャリア教育の充実

- ・見通しをもった指導計画の作成
- ・職場体験学習において、職業観の形成と生き方を考える

生徒会

- ・自ら考え、実行できる活動の充実
- ・全校生徒で創り上げる生徒会
- ・役割や責任がもてる場づくり

重点目標

「人間力の向上」

- ・想像力を働かせる場の充実
- ・軽井沢に学ぶ場の充実
- ・生徒に任せる場の充実

安心・安全の学校づくり

- ・交通安全の指導の充実
- ・発達障がい等の職員理解研修
- ・感染症等防止対策の徹底

生徒理解・生徒指導・学級指導

- ・一人一人の確かな生徒理解
- ・生徒の心に寄り添う生徒指導
- ・ピンチは、チャンス
- ・外部機関との連携、ケース会議
- ・教育相談や家庭との連携の充実
- ・安心できる学級集団づくり
- ・仲間を大事にできる生徒の育成
- ・自己存在感、自己有用感の伸長

小中高連携・交流

- ・小学校、風越学園、UWC ISAK JAPAN との交流、軽井沢高校との交流・連携の充実
- ・姉妹都市カダウイスー市、様々な国の文化や歴史の理解、体験

家庭地域との連携

- ・情報発信（学校だより、学年だより、Web）
- ・PTA作業、放課後学習
- ・軽井沢学を通じ、地域とのつながりを深める

- 【重点活動】
- 1 あいさつ
 - 2 清掃
 - 3 合唱
 - 4 自ら学ぶ、友と学ぶ